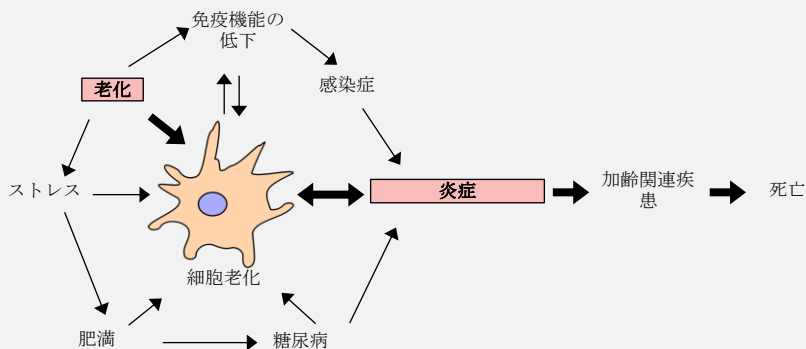


免疫老化
と
幹細胞
治療



免疫老化

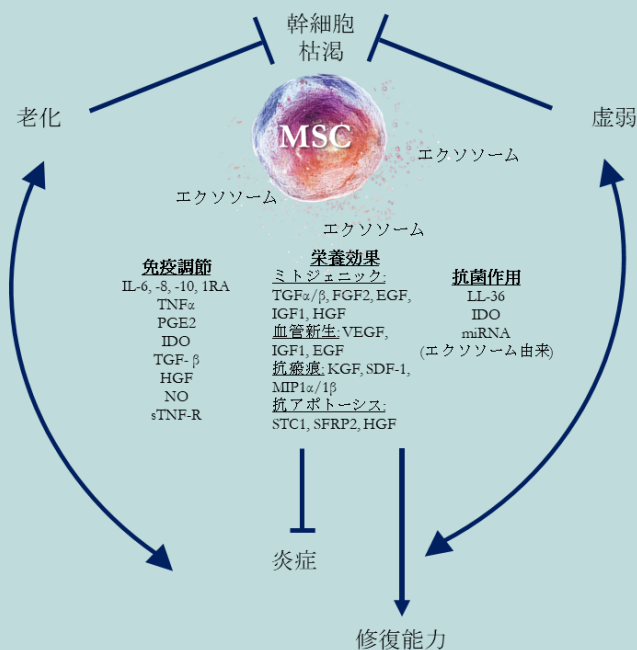


加齢とともに、免疫システムは変化し、感染症に対して脆弱になり、ワクチンへの反応が低下し、がんなどの加齢関連疾患の発症リスクが高まります。この免疫機能の低下は「免疫老化」として知られ、慢性的な炎症状態、いわゆる「炎症老化」を特徴としています。

この炎症は、プロ炎症性マーカーの高レベルによって引き起こされ、さまざまな加齢関連疾患の主要なリスク要因とされています。免疫老化は、胸腺の萎縮、代謝調節の不全、エピジェネティックな変化といった特徴を持ち、免疫細胞の早期老化がプロ炎症プロファイルを形成し、炎症老化を悪化させます。老化したT細胞と炎症老化が、免疫老化を促進する上で重要な役割を果たしていることが明らかです。現在、研究者たちは、免疫老化が腫瘍の発生にどのように関与しているかに注目しています。

HELENE 幹細胞治療の力

- 静脈内投与
- 免疫システムの調整
- 組織再生の促進



HELENEクリニックでは、免疫老化や虚弱といった加齢に伴う一般的な課題に対処する重要性を認識しています。当院の先進的なアプローチでは、これらの状態に対抗する有望な戦略として幹細胞治療を採用しています。幹細胞は独自の免疫調節特性を持ち、免疫システムを調整し、組織の修復を促進する能力を備えています。幹細胞は炎症や細胞損傷の部位に集まり、強力な抗炎症効果を発揮し、損傷した組織の再生を刺激します。

さらに、幹細胞は免疫細胞の機能を向上させ、感染症や加齢に伴う疾患に対する防御力を高めることが示されています。この革新的な治療法は、免疫老化や虚弱に悩む方々に包括的な解決策を提供し、生活の質と活力を向上させる新たな希望をもたらします。

